

いよいよ2013年春闘がスタート 労働者に犠牲を強いる企業と対決し、 賃上げを実現しよう！

2月13日、大手自動車労組を中心にベアなし、一時金だけの水準引き上げ要求で、春闘交渉がスタートしました。デフレ脱却を掲げる安倍政権は、首相自らが経団連の米倉会長ら経済3団体のトップと面談し「業績が改善している企業は、報酬の引き上げを検討してほしい」と「直談判」しました。しかし、経団連は、「ベアの実施余地はない、企業によっては定昇の延期・凍結もあり得る」と突き放しているのです。

安倍首相の経団連への「報酬」の 願いは、単なるパフォーマンス、選挙対策！

安倍首相のいう「報酬」の引き上げは、賞与などが含めており、「給与」とは特定していません。消費税増税の根拠となる4～6月期のGDPが底上げされ、選挙に勝ち、晴れて増税ができる環境づくりを狙っているのです。

「狂乱相場」で得た企業の利益は全て内部保留！

株価が上がって市場に活気が戻っても上場企業にしてみれば、円安による為替差益で稼いだようなもの、本業が回復して儲けているわけではないのです。経営側は、少しでも利益がでて、労働者に還元しようという気はサラサラない、むしろ「今のうちに内部保留を増やせ」とサイフの紐を絞めようと必死になっている、これが現実です。



株価を上げて好景気を演出する「アベノミクス」、要するに自民党の夏に向けた選挙対策でしかないのです。

2013年春闘で『ベア』をかちとり、 生活給の目減り分を取り戻しましょう！